

つくば市におけるドラッグストア・薬局の分布とウイルス対策用品備蓄に関する研究

宋 新宇 (地球科学専攻)

- 1. 目的:** 大学生にとって、ドラッグストアはスーパーに除く日常の主な消費の場所となっている。最近の新型コロナウイルスの感染拡大に対し、マスクや消毒用品などウイルス対策用品の需要が高まっている。本研究は、ドラッグストアと薬局を対象に、その分布及びウイルス対策用品の備蓄状況を実地調査し、ドラッグストアと薬局で商品を購入するために参考を提供する。
- 2. 研究対象地域:** 本研究は筑波大学およびつくばセンターの周辺地域——天久保地区、桜地区、春日地区、吾妻地区、竹園地区を研究地域とする。
- 3. データと手法:** まず、Survey123 を用いて、各ドラッグストアと薬局の位置情報を記録した。そして、現地調査を行って、各ストアのウイルス対策用品の在庫数、販売数および再入荷状況を調査し、それに基づいて、調査終了2週目の火曜日の在庫状況を推定して店舗ごとのウイルス対策用品の備蓄状況进行评估する。
- 4. 結果:** 調査した8つのドラッグストアのうち、調査当時に消毒用アルコールはすべて売り切れ、調査期間中に補充品もなく、再入荷も不安定という状況であった。その他、マスク、除菌ウェットタオルとウイルスブロックスプレーはある程度在庫がある。調査した薬局の結果についてが、調査した薬局はいずれも処方薬局であったため、13社のうち4社しかウイルス対策用品を提供し

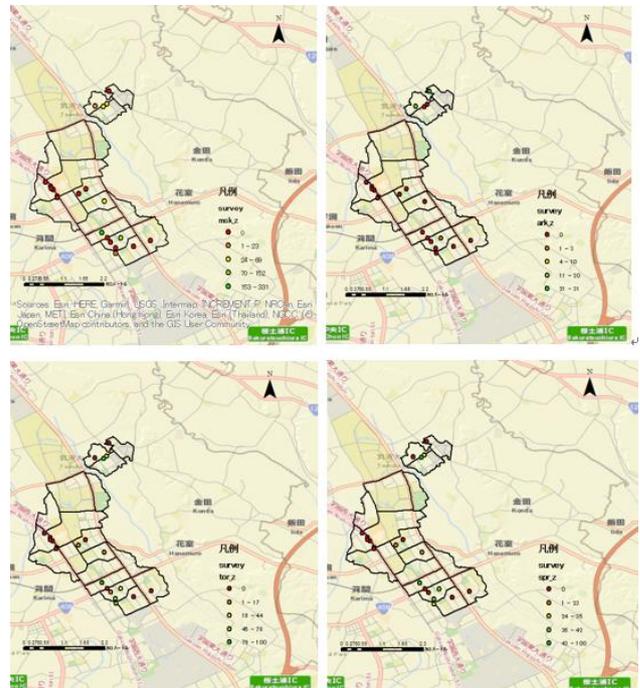


図1. マスク (左上)、アルコール (右上)、除菌ウェットタオル (左下)、スプレー (右下) 令和2年2月4日の在庫状況

ていない。そして、マスクは桜のあおぞら薬局だけ販売されている。ウイルス対策用品必要度の高い順により、店舗ごとに備蓄状況の高い順に、ココミンドラッグストア、ウェルシア春日店、ウェルシア桜店、ウェルシア竹園店、ウェルシア吾妻店、マツモトキヨシ、カワチ、サンドラッグ、さくらい薬局、あおぞら薬局、アイン薬局、ふたば薬局、ほかの薬局となる。

表1. ストアごとにウイルス対策用品の来週火曜推計在庫数

店舗名	類型	所在地	マスク来週火曜推計在庫数	アルコール来週火曜推計在庫数	タオル来週火曜推計在庫数	スプレー来週火曜推計在庫数	来週火曜推計総数
ココミン	ドラッグストア	吾妻	300	0	37	60	397
ウェルシア	ドラッグストア	春日	80	0	100	100	280
ウェルシア	ドラッグストア	桜	80	0	100	52	232
ウェルシア	ドラッグストア	竹園	80	0	99	50	229
ウェルシア	ドラッグストア	吾妻	80	0	70	50	200
マツモトキヨシ	ドラッグストア	竹園	100	0	0	0	100
カワチ	ドラッグストア	桜	0	0	200	31	231
サンドラッグ	ドラッグストア	竹園	0	0	120	100	220
さくらい薬局	薬局	桜	0	20	0	0	20
あおぞら薬局	薬局	桜	0	20	0	0	20
アイン薬局	薬局	天久保	0	0	16	17	33
ふたば薬局	薬局	竹園	0	0	0	0	0
とちの木薬局	薬局	竹園	0	0	0	0	0
南山堂薬局	薬局	竹園	0	0	0	0	0
アイン薬局	薬局	竹園	0	0	0	0	0
南山堂薬局	薬局	天久保	0	0	0	0	0
かずが薬局	薬局	春日	0	0	0	0	0
南山堂薬局	薬局	春日	0	0	0	0	0
大学南薬局	薬局	春日	0	0	0	0	0
さくらい薬局	薬局	春日	0	0	0	0	0
ウェルシア薬局	薬局	春日	0	0	0	0	0